

中小企業診断士の視点

第94回 生成AIツールの利用検討を



中小企業診断士 大橋 孝洋
(一社)埼玉県中小企業診断協会

生成AIツールは、人工知能(AI)を活用して様々な種類のデータから新しいコンテンツや情報を生成するソフトウェア(ツール)です。AIはインターネット上に存在する膨大なデータからパターンや規則性を学習し、質問や指示に応じて統計的に最も適切な回答を提供することができます。

専門知識を必要とせず、多くのツールが無料で利用可能なため、業務効率化を目的として導入する企業が増加しています。実際に、帝国データバンクが2023年に行った「生成AIの活用に関する企業アンケート」によると、生成AIを「活用・検討」している企業の割合は過半数の61.1%と報告されており、その関心の高さが伺えます。

では、どのような場面で活用できるのでしょうか。以下は生成AIツールの活用例です。

①テーマに沿った文章の作成

特定のテーマに基づいて文書の作成を指示すると、ビジネス文書に適した体裁や文体で文章を作成できます。例えば、「顧客に対して注文を依頼する文書を作成してください」と指示し、注文条件や担当者名、作成する文字数などの詳細を追加すれば、すぐに使用可能なレベルの文書を精度良く作成することが可能です。

②文書の校正や要約

すでに作成された文書を生成AIツールに読み込ませることで、文法の誤り、誤字脱字、表現の一貫性などをチェックできます。また、本文の要約版を作成する際にも便利です。「以下の文章を要約してください」と指示すれば、本文の重要な要素を網羅しつつ、意味の通った短縮版を作成できます。

③キャッチコピーの候補出し

「〇〇についてのキャッチコピーを10個作成してください」と指示すると、10個の候補を提供してくれます。ゼロから案を考えるよりも、AIによって生成された候補を選択し、一部を修正して最終的な選択を行う方が断然効率的です。

これらは一例に過ぎず、生成AIツールは他にも多様な利用シーンで導入されており、企業によって活用の仕方は様々です。昨今は人手不足が問題となり、一人当たりの生産性向上が重要な課題です。このようなツールを使いこなすことで、業務効率が改善するだけでなく、従業員のデジタルスキル向上にも寄与します。興味を持たれた場合は、実際に試し、貴社の業務における活用可能性を検討してみることをお勧めします。

埼玉県中小企業診断協会では、こうした生成AIツールを用いた業務効率化のご支援も承っております。ツールの導入手順や効果的な使い方はもちろん、AIを用いた事業計画の策定まで幅広く提案できるのが強みです。AI活用に関心がある場合は、ぜひ埼玉県中小企業診断協会までご相談ください。

【問い合わせ先】

(一社)埼玉県中小企業診断協会

ホームページ：<https://sai-smeca.com/>

電話：048-762-3350

Eメール：rmcsai@nifty.com